



中綴じ

なかとじ



概要

中綴じ（なかとじ）とは、書籍や雑誌などの冊子で、表紙と、中身となるすべての折丁（印刷した用紙を冊子の大きさに折りたたんだもの）とを見開きの状態でページ順に重ね合わせ、表紙中央からノドの折り目にかけて針金などで綴じ合わせることをいいます。

製本の工程が簡潔で、冊子をノドまで開けることなどから、週刊誌やグラビア雑誌、マンガ雑誌などで用いられています。ページ数の少ない冊子に適しており、背は折り目になるため書名などの文字を入れることはできません。

中綴じは面付け（印刷用紙にページを配置する処理）がほかの綴じ方と異なる独特なもので、冊子の中央を軸に前半部と後半部とが対称の構造になるため、冊子の企画の段階から印刷用紙や印刷方式についてよく計画することが必要になります。

